取扱上のご注意

■設置条件■

＜モバイルスクリーンは屋内専用です＞

屋内においても転倒する恐れがありますので、スクリーンを空調（エアコン等）の吹きだし口付近には設置しないでください。
また、設置状況に応じてスタンドの脚に重りを置くなどし、転倒防止の措置を取ってください。

禁止事項！

屋外で使用しないで下さい。
屋外で使用された場合、いかなる損害についても一切の責任を負いません。

警　告！

本製品にぶら下がったり、押したり、もたれるなどの不要な負荷をかけないでください。
製品が転倒し、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。

■生地■

生地には、漂白および変色を防止する対策が施されています。
生地はフレーム等の部品による損害を避けるために専用のスクリーン生地収納バックに収納されています。
ご使用後は必ず専用バッグへ綺麗に折り畳んで収納し、保管してください。
下記注意事項をご確認の上、正しくご使用下さい。

注意事項！

1）生地に印刷物や着色物を接触させない。
（マニュアル・雑誌　等）
2）生地表面に文字や絵を書かないでください。
色が映写面に入り込んで、クリーニングできなくなります。
3）生地を折り重ねるときには、ひどい跡がつかないよう同封の保護シートを生地のスナップと生地との間に挿入してください。
4）生地は清潔で乾燥した部屋に収納してください。
収納の際は、ごみや破損に注意し、映写面が内側になるよう折り重ねて収納してください。
5）寒冷地や低温時には生地が硬くなる場合がありますので、温室で暖めてから作業してください。

～生地のクリーニング～

生地のクリーニングは、必要な場合のみ行ってください。
水で浸した白い清潔な綿布を使用し、一方向にやさしく拭き、次に別の乾いている綿布で、スクリーンの水分を取り除きながら軽く拭きながらクリーニングしてください。
その際、回転させる拭き方をしないでください。
頑固な染みを取り除くには、アルコールを使用して同じ手順に従ってください。

※酷い汚れの場合にはお買い上げ頂いた店舗までご相談下さい。
程度により生地クリーニングを承ります。

輸入販売元

株式会社オーエス
株式会社オーエスプラスe
コンタクトセンター

〒120-0005　東京都足立区綾瀬 3-25-18
TEL：0120-380-495　FAX：0120-380-496
（受付時間：平日 9：00～18：00　※土日祝日を除く）
E-mail：info@os-worldwide.com
※フリーダイヤルに接続できないお客様は、ご面倒ですが下記電話番号までおかけください。
TEL：03-3629-5211　FAX：03-3629-5214

取扱説明書　モノブロックス32/64

ANLEITUNG FÜR MOBILE PROJEKTIONSWÄNDE
MONOBLOX 32 UND MONOBLOX 64

※本取扱説明書は、AVｽﾀﾝﾌﾙ社の内容を元にOSMIにて翻訳/編集がなされたものです。　SM11Y02

モノブロックス　組立設置説明

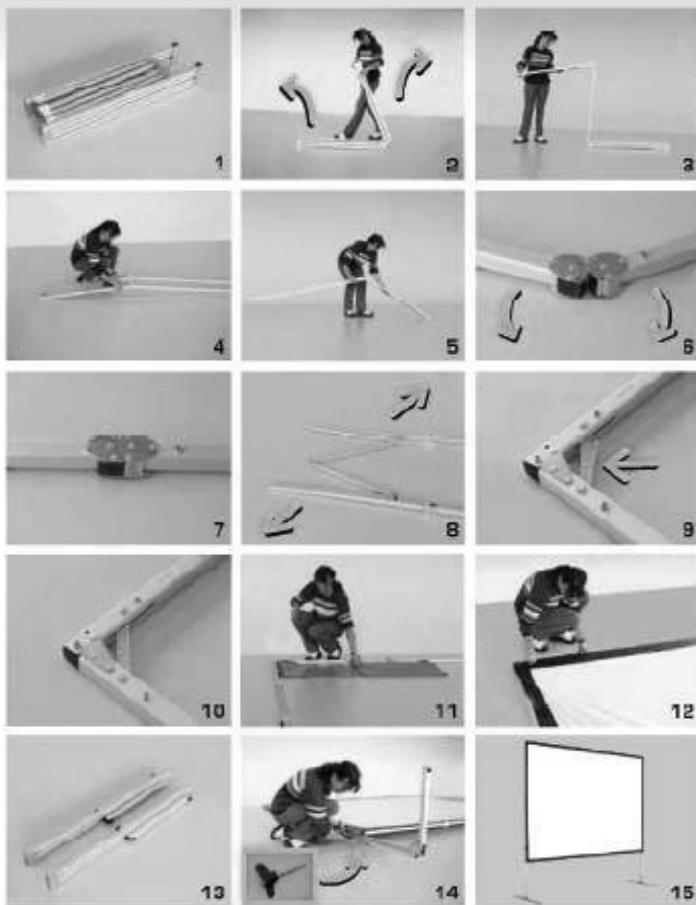
組立手順

T32−Leg

幕面側

ロック機構有り
<ロックON>

ロック機構有り
<ロックOFF>

16

●安全上のご注意●

1）スクリーンの組立・分解作業は、必ず2名以上の適切な人数で実施してください。
2）組立・分解作業は十分な広さの平らな場所で、作業してください。
3）フレームのコーナー金具やジョイント部で指をはさまないように注意してください。

■1■フレーム

①モノブロックス32のフレームは折畳みの1体型になっています。
②モノブロックス64のフレームは折畳みの上下フレームと左右のジョイントフレームに分割されており、蝶ねじで止めていきます。
③折り重ねられたフレームを水平にカチッと音がするまで開きます。（1～8参照）
　※金具が確実にロックされている事を確認してください。
④コーナー金具は指で押し込み、確実にロックされていることを確認してください。（9・10参照）
　※フレームのスナップが上を向くようにフレームをセットします。（映写面が上面になるように）

■2■生地（11・12参照）（注：寒冷地や低温時には生地が硬くなる場合がありますので、温室で暖めてから作業してください）

①セットしたフレームの上へ、映写面が上向きになるように生地を広げます。
　※スクリーン生地には表裏・上下があります。生地裏のラベル″SCREEN TOP″がフレーム上部に来るように確実にセットします。
②生地のスナップを任意のコーナーから順に止めます。
　※生地が破損する恐れがありますので、必ず、任意の一箇所より、順に止めてください。
　　『四隅を先に止める』『対角へ生地を引っ張っての張り込み』等は絶対に行わないでください。

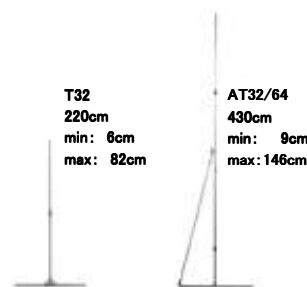
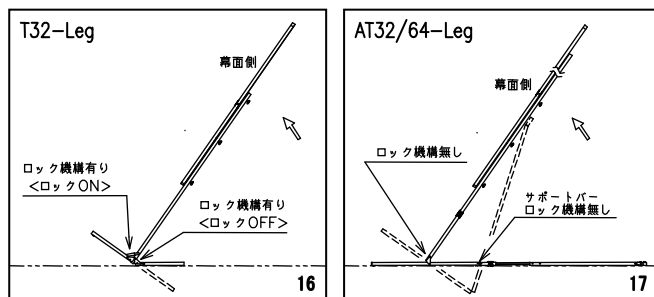
■3■スタンド（13・14参照）（注：設置高さは、屋内の影響（例：風、空調、隙間風）を受けない状態で、サイズと環境に応じて選択してください）

①フレームを寝かせた状態のまま、任意の設置高さに合わせてスタンドを並べます。
　※その際、スタンドの最大設置高さを超えないように注意してください。
②フレームの取り付け穴を確認し、蝶ねじにてフレームとスタンドを固定します。

■4■設置

①上部のコーナーを左右同時に持ち上げながら引き上げ、次に垂直部を支えながら、立ち上げます。
　※この時、AT32/64−Legをご使用の場合、スタンドのサポートバーはスクリーン立ち上げ後に取り付けを行ってください。
　　（16・17参照）
②−AT32/64−Leg の場合　：　スクリーン高さに合わせてサポートバーの長さを調整し、蝶ねじで止めます。
②−T32−Leg の場合　：　閉じておいたスタンド背面側の脚部を開き、固定します。

■5■分解

①−AT32/64−Legの場合　：　スタンドのサポートバーの蝶ねじを外します。
①−T32−Legの場合　：　スタンド背面側の脚部のロックを外します。
②フレームを支えながら左右同時にスタンドをゆっくりと傾け、上部のコーナーを支えながら水平に降ろします。
③フレームとスタンドを固定している蝶ねじを外します。

〈スナップ〉
フレームに生地を止めつけるもの（写真）
オス/メスがあり、フレーム側をオス・生地側をメスとする